

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が少し収まっているようなので、2、3か月後は良くなる。
		家電量販店（店長）	・電力事情から省エネが叫ばれており、エアコンに代表されるような省エネ製品を中心に、動きが生じている。地上波デジタル放送のテレビが売れており、新しいニーズが喚起されている。
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィーク明け早々に、夏の家族旅行関係の申込が何件もあり、例年になく早い動きとなっている。SARSの影響も、これから先縮小するであろう予想のもとに、客が動いており、このままいけば、景気も良い方向に動いていくのではないかと期待している。
		旅行代理店（従業員）	・販売量は相変わらず少ないが、これから夏に向け、旅行の数も増え、またSARSも終息していくものと期待している。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの終息によって景気は良くなる。
	変わらない	設計事務所（所長）	・建築計画の相談が引き続きある。この状態が更に続くことを願っている。
		商店街（代表者）	・SARS問題が起きていること、将来が不透明であることにより、客も先行きを心配している。国が明確な方針を出さないと、先行きは良くならない。
		百貨店（売場主任）	・毎月、予算どころか前年水準を達成できない状況が長く続いており、この傾向に歯止めがかかる様子がない。3か月先に良くなる見込みがない。
		百貨店（売場主任）	・テロやSARSの影響で社会情勢が厳しいものになっている。これが物販面にも顕著に表れている。今後もその状況が続く可能性が高い。
		百貨店（統括）	・客の消費動向、取引先の商品生産の情報などを考えて、今後も状況は変化しないものと見ている。これから夏のクリアランスが始まるが、客はあくまでも必要な商品しか買わない傾向が続いており、夏の商戦に関しては上向きになることはないと予測している。
スーパー（店長）	百貨店（営業企画担当）	・SARSのような一時的かと思われる海外渡航の自粛を要因とした国内需要増は、長く続かない。母の日などのギフト需要は好調であるが、自家需要の商材の動きはいまだに力強さが感じられない。	
	スーパー（店長）	・競合店がオープンした家電については、売上が大きくダウンしているが、そうした外部的な与件がない限り、店の打ち出し方で売上が上下する。景気の問題というよりも、販売側の努力次第である。一例として、先週実施した沖縄フェアで、アンダーギーという沖縄の菓子の販売を店全体で強化したところ、日曜日に4,600個売れている。	
	スーパー（店長）	・SARSの影響もあり、輸入食料品の安心、安全に対する客の目は相変わらず厳しい。消費を喚起する物はまだ見当たらない。	
	スーパー（店長）	・相対的な売上は、トレンドの95～98%を推移している。 ・婦人服に若干の回復の兆しはあるが、SARS等の影響で、海外旅行関係が前年4掛けの状況、旅行バック等の物販も5掛けの状況である。6月から売上が大きくなってくる、婦人の水着関係もこういった状況では厳しい。 ・ただ、昨年6月は、サッカーワールドカップの影響で、4日間売上を非常に落としているので、プラス要因も若干あると期待している。	
	スーパー（運営担当）	・今現在では、大きな変化は見られない。また、今後も大きな変化はないと予想されるが、SARSの状況によっては大きく変化すると見られる。	
	スーパー（管理担当）	・チラシを安く打ち出して販売をしているが、買上単価が一向に改善されず、必要な物以外の商品は購入しないという現状で推移している。 ・今後2、3か月先も同じような傾向である。	
	コンビニ（経営者）	・数か月、売上は前年比をクリアしているが、客単価はガタガタと下がっている。悪くもなく、良くもなくこのままの状態で行く。	

衣料品専門店（経営者）	・売れ筋は単価の安いTシャツばかりで、このままでは春物の残品を抱える。来月に入るとセール控え、もしくはセールの前倒しで、粗利益の確保が難しい。今のままの悪い状況が続く。	
衣料品専門店（販売担当）	・品揃えも工夫しており、このまま伸びてくれば良いが、全体の雰囲気としてあまり良くならない。このごろ、客のデパート離れを感じる。右も左も同じ物という店では満足できず、個性のある物を求めている客が多くなっている。	
家電量販店（営業部長）	・PC関連は、夏モデルの発売で少々期待できそうだが、昨年はサッカーワールドカップにより、この時期から薄型TVが大きく伸び始めた。今年は、単価も下がり、イベントもなく苦戦が予想される。	
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・4月同様、フレームの単価が5%程度低下しており、機能や素材よりも、デザイン、形が同じであれば、より安い商品が選択されている。この傾向は変わらない。	
高級レストラン（支配人）	・近くの商社の半分の部門が移転したため、周りに新たな企業が移転して来ない限り、このまま悪い状態が続く恐れがある。ビルの周りの人通りも以前と比較して少なくなっている。	
スナック（経営者）	・サラリーマン向けの定食の平均価格が、650円から500円以下に低下したり、衣料も中国製の安い商品を購入するという傾向があり、このまま変わらない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・4月に引き続き、SARSの影響から、アジア各国からの客が減少しているため、先行きの見通しが立たない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・完全にSARS感染の心配がなくなるまで東南アジアからの受注はしない方針のため、かなり営業は厳しい。	
都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの特効薬が、開発されるかどうかにかかっているが、当分の間、状況が良くなるとは思えない。 ・都内に、再開発による複合飲食施設の新規オープンが相次ぎ、外食店は供給飽和にある。国内の外食需要を喚起しても難しい状況である。	
旅行代理店（従業員）	・夏場の予約状況が良くなってきているものの、販売単価はあまり高くない。数は増えても、利益ベースで考えるとそれほど商売にはならない。	
通信会社（営業担当）	・当面は、放送、通信ともに大幅な需要増の見込みがない。今後、地上デジタル放送やIP電話等の商品化による需要喚起が必要である。	
通信会社（営業担当）	・当社事業においては、設置工事費等の半額値引きを実施しているが、客の中に値引きは当たり前という雰囲気が強く見られ、反応は鈍い状況が続いている。	
ゴルフ場（支配人）	・2、3か月先の予約の出足が、例年に比べて悪い。	
住宅販売会社（経営者）	・良くなる要素が全くない。国の政策にも、世の中の景気判断にも、住宅購入に対する強い信念が感じられない。住宅に関しては、買い手市場で、客は思うような物件がなければ無理をしてまで買わない。	
やや悪くなる	一般小売店〔CD〕（営業担当） 一般小売店〔鞆・袋物〕（従業員） 百貨店（企画担当） 百貨店（企画担当） 百貨店（営業担当） 百貨店（販売促進担当）	・先行きへの不透明感が強く、趣味し好品への支出は、改善する兆しを感じられない。 ・SARSの問題のため、海外旅行などの余暇にも金を使わなくなっており、節約傾向がみられる。 ・客単価が前年割れしているの、やや悪くなるという見通しを立てている。 ・来客数、売上が減少し、前年を確保することが極めて難しい状況が続いている。特に紳士服、婦人服など主力の衣料品の落ち込みが激しく、ここ数か月この状況が続いている。景気の良い業種が皆無で、今後も更に不透明な状況が続く。 ・5月は4月に引き続き、前年とは大きく異なり、気温の低い日が続いたことと雨の日が多いこと、台風が上陸し大雨となったこともあり、初夏物衣料品が低迷している。また、SARS問題等も深刻化しており、景気への影響が懸念される。ただ、今のところ天候が個人消費に一番影響すると考えられ、売上動向が低迷する可能性がある。 ・銀行の問題、近隣の商業施設閉店など、先行きの不透明感が、一般消費者に不安を与えている。 ・アジア諸国に広がった、SARSの日本への伝染の不安感も追い討ちをかけている。

	スーパー（経営者）	・酒を含めた一品単価は178円、一番良い時は220円であった。これが、1円、2円と徐々に下落していくので、デフレであると実感する。良い商品を販売しても、なかなか単価が上昇しないので、総金額が到達しない。	
	スーパー（統括）	・消費者が良い品物をできるだけ安く、必要最小限の量しか買わない傾向が強まっており、この数か月の消費需要には期待できない。	
	コンビニ（店長）	・消費者の買い控えが続く中、9月には酒類販売の免許が自由化されるので、消費者の分散化が進む。	
	衣料品専門店（経営者）	・6～8月に夏物商戦があるが、5月に夏物バーゲンに突入してしまったので、これから何をどのように売っていくかが非常に難しい。夏物がどれだけ売れるか、非常に不安である。	
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今の状況であると、景気はそう変わらないが、窮乏がどんどん広がってきているし、もし日本でSARS患者が一人でも見つかったときは、外出も控えると予想されるので、事態は大分変わってくる。	
	その他専門店〔燃料〕（統括）	・市況価格の下落により、口銭が圧縮され、月次収支減が続く。	
	一般レストラン（経営者）	・SARSが国内で蔓延するようなことになれば、集客に影響が出ることは必至である。	
	一般レストラン（店長）	・当店のある地区では再開発が進んでおり、ビルのリニューアルや建て替えが実施されているが、飲食店が増加している割には、ビルの人口が増加していないので、競争が激化し、単価が低下し、来客数も減少する形になり、やや悪くなる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・計画中止や人数減少があり予約率は下がっている。また、昨年行われたサッカーワールドカップ関係の宿泊もないので、景気は下向きになる。	
	タクシー運転手	・今後2、3か月、明るい材料がない。夜は客もおらず、閑散としている。良くなる要素が全く見当たらない。	
	タクシー運転手	・イラク問題、SARS問題についても、他人ごとではない。日本人は旅行好きなので、これらの火種にいつ火がついてもおかしくない状態である。景気には当分の間希望が持たない。	
	設計事務所（所長）	・受注の見通しが全くない。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の駆け込み需要も一段落して、景気の良くなる要因が見当たらないので、今よりはやや悪くなる。	
悪くなる	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・消費者の購買意欲が全くない。今のままでは、どうしようもない。	
	コンビニ（経営者）	・4月は来客数が前年比100%を確保できたが、5月は90%となっている。このような動きが、来月も続くと思われる。	
	衣料品専門店（次長）	・SARSへの不安感からか、客の輸入商品への警戒感があり、特に、中国製の商品には躊躇している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で、ホテルの宿泊予約が約1億円減少しており、WHOの発表があるまで、当面宿泊客が見込めず、先行きが不安である。	
	旅行代理店（支店長）	・SARSの影響による海外旅行の落ち込みと、金融不安の拡大により、更に消費が冷え込んでいる。	
	美容室（経営者）	・周囲の店の料金が段々下がってきていて、経営状態が悪くなってきている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・弱電の方が落ち込んでいるが、これはSARSの影響で中国から部品が入ってこないためである。自動車関係がこれから良くなる感触がある。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ディーゼル規制のため、トラックの買い替えが進んでいる。仕事は忙しい状態である。しかし、この忙しさは10月ぐらいまでしか続かない。
		その他サービス〔建設機械リース〕（経営者）	・夏から秋にかけての、注文の引き合いが少し増えてきている。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・得意先や日常の様子から、景気に変化する兆しが見えない。
		化学工業（従業員）	・生産数量を増加させる要因が何もなくて、むしろ現行の生産数量が少しずつであるが減少傾向にあるので、場合によっては、少し悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・5月は受注量が増えて、残業をしないと納期に間に合わない状況である。今の状態が続いてくれれば、何とかやって行けそうである。

		建設業（経理担当）	・何件か問い合わせ案件が出てきているが、契約成立や見積をあげるなど、具体化した話はまだ少ない状況である。
		通信業（営業企画担当）	・競合他社との価格競争が激化しており、客からの要望も厳しくなっている。価格以外での差別化に、各社とも苦慮している現状において、さしあたっての景気回復は望めない。
		金融業（審査担当）	・取引銀行変更に伴う借り換えの要請が目立っているが、前向きな投資意欲は、依然として低い。
		広告代理店（従業員）	・毎月、決まった仕事の繰り返しとなっており、売上も定額である。取引先のビニール製造会社は忙しい様子である。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・全体的に物の動きが鈍く、低迷状態が続くようであるが、SARSの影響で、逆に国内工場の稼働率が上がる様子もある。
	やや悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・価格引き下げの要求が5月に入って増えてきたので、今後はやや悪くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・当初予定していた商品を購入するかどうか、購入したら悔しゅんの念が生じないかなど、商品購入に踏み切れない客が多い。
		建設業（営業担当）	・業界各社、特に製造業は、人件費の問題もあり、海外進出をしているが、イラク戦争やSARSの問題により、需要が減っており、受注や販売量に影響している。
		輸送業（経営者）	・荷物減少に加え、自動車NOx・PM法等の触媒（装置）、DPF等の取付け費用等がかさんで、大変厳しくなる。
		金融業（得意先担当）	・小売業の売上減少が目立つ。
	悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・客先の仕事量が少なく、先行きが分からない。
		輸送業（総務担当）	・新規事業の予定がしばらくない。
			・今年の10月1日より、10年以上の車両は、自動車NOx・PM法等により走れなくなる。新車に替えるか、軽減装置を取り付けるか選択する状態である。いずれにしても、キャッシュフローが非常に厳しい状況で、車両を減車して対応していくしかない。特に、中小のトラック業者は、この環境規制の対応のために、台数を減らし、廃業に追い込まれる企業も増える。当社も、新車を買えないので、減車をして規制に何とか対応する。
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	職業安定所（所長）	・新規求職者の増加幅が、5月は減少に転じ、新規求人数が大幅に増加している。新たな人員整理、リストラの動きもみられない。
		職業安定所（職員）	・依然として企業経営者は、正規常用社員の雇用増に対しては慎重な姿勢をとっているが、正社員並みの雇用条件で処遇する期間雇用、パートタイム雇用には、増加傾向が伺える。
			・製造業での求人増加に底堅い動きが伺え、とりわけ大手メーカーの景況の影響を受ける小零細事業所の人材事業に、プラスの傾向が表れてきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣依頼が増加傾向になってきているが、派遣料金については、現状維持が低下傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・国内はこれ以上悪くなることはないが、SARSの影響で東南アジア、特に中国の生産に対する増強を見合わせている企業が多く、求人を控えている点が、懸念材料である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・企業の利益が下がる中で、各社人件費、広告費を抑える動きが強くなる。採用したいが、社内の人間で業務を賄う動きや、仕事量の低下に伴い、人材が余剰となるなど、マイナス面の動きが強くなる。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・街の再開による地域活性化を期待したが、思いのほか結果が出ない。上向きの様相はあるものの、業種によっては、SARSや金融の再編、生保の利率見直しなど、社会問題による影響もあり、今後も経費削減のためのリストラが懸念される。
		職業安定所（職員）	・当所の4月の有効求人倍率が、0.87倍で前年同月を0.2ポイント上回り、就職数も前年同月を4.8ポイント上回ったが、SARSの広がりなどの生活不安、そして、夏に向けての電力不足が影響する。
		職業安定所（職員）	・4月の求人数は、対前年度比で15.3%の増加、前月比で1.2%の増加であるが、事業所の閉鎖等が一部で噂されており、その求職者数を考えると、それほど変わらない。

	民間職業紹介機関（経営者）	・企業の人事の話によると、将来的な動きがはっきりしなくて、規模を見直す、本社からの採用を一時凍結するということである。企業の成績の良い所は今までと変わらないが、悪い所が目立っている。
やや悪くなる	学校〔専修学校〕（就職担当）	・大手エレクトロニクス系企業で、実績が年度予想利益を大幅に下回っていること、大手銀行への公的資金投入の件、SARSによる現地工場閉鎖等の影響で、採用中止や見直しの連絡を受けているところがある。
悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・毎年6、7月までは、募集広告はますますあるのだが、連休以降、なくなっており、平成不況の中では1番早い。5月にこのような状態では、6、7月はもっと悪くなる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・有料紹介事業者として、良くなる兆しが見えない。雇用形態が、正社員から契約期間のある雇用へシフトしている。